

7月~10月の活動

学校、保育園、福祉現場への訪問、地域活動、ボランティア、学習会などに参加し、様々な課題を伺いました。



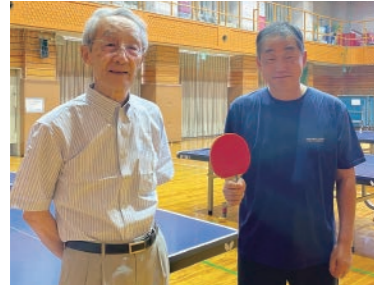
市民の会で明石養護学校を視察



市民の会でゆりかご園を視察



橋本県議と子ども園を訪問



スペシャルオリンピックス活動



江井ヶ島海岸清掃



高齢者ディサービスを訪問



高齢者支援施設にて学習会



相談支援事業所を訪問



市民の会独自で講師を招いて自主学習会



中学校給食試食



橋本県議と明石警察署へ
道路についての相談



第4回タウンミーティング「こども会議」



明石公園のあり方 検討会



夏休み親子で議会体験ツアー



みんな本気フェスタにて丸谷市長と



ビーチスポーツフェスタにて
ヒップキャンプ(水陸両用アウトドア車椅子)
体験



大久保駅にて

やさしい明石を これからも 明石の福祉のさらなる発展のために活動しています (後援会討議資料)

明石市議会議員

かなおよしのぶ 活動報告 2023年 秋号 市民の会

市民の声を市政に反映させていくために



市民の皆さんから、大切な一票をいただいて、5月から議員として活動させていただき、5ヶ月が過ぎました。福祉現場、子ども園、教育関係の施設などを訪問させていただく中で、沢山の課題を目の当たりにしました。これからも、常に市民目線で物事を考え取り組んでまいります。泉房穂前市長が取り組んで来られた**全ての人にやさしい街づくり**、**だれひとり取り残さない明石**をさらに前へ進め、**全ての市民(子ども、高齢者、障害者、ひきこもり、ヤングケアラー、難病、LGBTQ+SOGI等)にとってやさしい街づくり**を継続していきたいと思ひます。市民の会メンバーと共に、丸谷さとこ新市長の元でしっかり連携し、明石を前へ進めてまいります。

市議会9月本会議にて6月に続き一般質問をしました



本会議質問

学校、保育園、福祉現場を訪問させていただく中で多くの課題に直面。福祉だけでなく、地域の課題も伺い、市民一人ひとりの声を大切にしていきたいと改めて感じています。来春には、かねてより開設を切望していた**明石商業高校福祉科**が産声を上げることに、**「やさしい明石をこれからも」**と心に誓い、本会議に臨みました。また、国からの交付金(新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金)の使い道について、**原油高・物価高騰などの影響を受ける障害福祉・介護サービス施設や、保育・児童養護施設等への補助を行う**という市の補正予算が出され、**全会一致で可決**されました。

1 明石商業高校福祉科開設について

<質問要旨>

(1)生徒募集について

第1回目学校説明会(8月24日)の参加状況と生徒の様子について伺う。

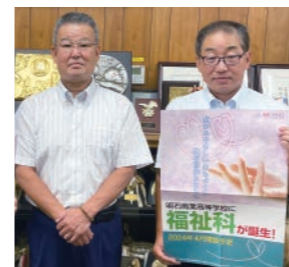
(2)社会福祉法人、事業所への協力要請について

6月議会において、生徒に社会福祉についてより一層関心を持ち、職業にしたいと思ってもらえる取組をしてはどうかと提案させていただいた。その後の社会福祉法人、事業所等への実習、ボランティアなどへの協力要請の状況について伺う。

<明石市からの答弁要旨>

第1回目の体験学習会では商業科と福祉科合わせて中学生294人、保護者120人が参加し、福祉科の体験学習には、**中学生54人、保護者34人**が参加。福祉科の説明を熱心に聞き、運営の手伝いをしてくれた明石商業高校の生徒の助けを借りながら体験学習に積極的に取り組んでいた。

福祉事業者のご理解とご協力が欠かせないものと考えている。福祉事業所に対しては、これまで生徒の実習の受け入れ可否についてのアンケート調査を行い、**多くの事業者から受け入れ可能との回答**をいただいている。また、実際に生徒が施設実施を行う際には、明石商業高校の教員が受け入れ先の施設を訪問し、実習指導者の方と当該生徒の指導方針などについて十分な協議をさせていただき、より充実した施設実習を実施したいと考えている。また、このほか、福祉科では、**地域における生徒のボランティア活動も推奨**していきたいと考えており、その一環として、**施設でのボランティア活動**をさせていただくこともあるかと思うが、その際にも福祉事業者にご協力のお願いをしていきたいと思ひます。また、**地域のボランティア団体との連携**についても検討していく。



明石商業高校 校長先生と



まると障害福祉フェアにて

明石商業高等学校に
福祉科が誕生!
広がるやさしいまちづくり
次の世代とともに
2024年4月
開設予定



かなおよしのぶ

〒673-0891 明石市大久保町緑ヶ丘25-8
mail kanaofukushi@gmail.com

ホームページ、SNSから情報を発信しています
<https://kanaofukushi.jp>

かなおよしのぶ 検索



2 住みなれた地域で安心して暮らせる障害者支援及び定年退職後の高齢者が福祉現場で働けるような仕組み作り(福祉現場の人材確保の観点からも)について

<質問要旨>

(1)障害者の就労場所の拡充について

障害者の法定雇用率が2024年4月に2.5%、2026年度中に2.7%に引き上げられるが、市の指定管理や業務委託の企業・事業所などに障害者雇用の協力をいただき、サポーターとして就労支援について実績、専門的スキルがある支援関係機関と連携を取り、障壁となる課題を改善しながら障害者就労の拡充を行えないか。また、市の資源循環課のキャリアアップ事業の振り返り、本市独自のしごと体験をさらに庁内に広げることは可能か。

(2)障害者の移動支援要件の緩和について

本人の障害特性を勘案して、通学、福祉事業所通所、趣味活動、並びに定期的なショートステイ利用の移動支援等の利用を無期限で利用できるようにできないか。また、実際に現場で対応している自立支援協議会等と一緒に移動支援の在り方について検討できないか。

<明石市からの答弁要旨>

来年度より法定雇用率が段階的に引き上げられることを踏まえ、あくとも(明石市障害者就労・生活支援センター)を通じた一般企業への就労に向けた支援を継続するとともに、明石市役所としても引き続き、障害者対象の採用試験を通じた雇用と障害のある職員が働きやすい職場環境づくりに取り組んでいく。



就労移行支援事業所にて

個別の事情に寄り添った柔軟な制度の運用に努めるとともに、国の動向も踏まえながら、障害のある人の外出支援について検討していく。



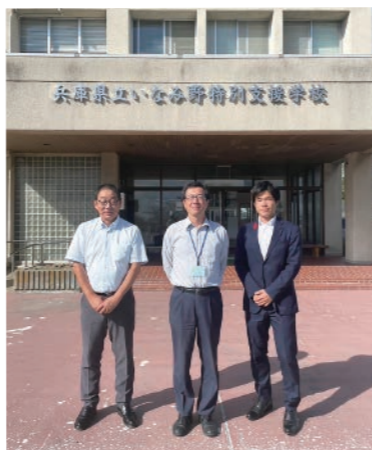
養護施設を訪問



障害者支援施設を訪問



就労継続支援B型事業所を訪問



橋本県議といなみ野特別支援学校を訪問

(3)福祉現場で働く職員のさらなる待遇改善に向けたヒアリングの実施状況について

6月議会において、福祉現場で働く職員のさらなる待遇改善に向けた取組についての質問を行い、まずは事業所や働く職員の意見をヒアリングし実施を検討するとの答弁があったが、その後の進捗状況はどうか。



障害者支援施設を訪問

介護 障害福祉分野で働く上で取得することが望ましい21の資格に対し、取得費用の一部を補助する介護障害福祉分野資格取得支援も行っており、昨年度は87件 約300万円の助成を行った。今年度については、昨年度を上回る補助を受け付ける見通し。

全ての職員の方にとって働きやすい 働き続けたい環境づくりを支援するため、幅広い施策を展開していきたいと考えており、取り組みの内容の事実を図っていくためにも 実際に現場で働く方々のご意見をお伺いする機会が必要であると考えている。

6月議会における議員からのご意見も踏まえ、早速、関係団体や福祉現場で働く職員の方々へのヒアリングを企画し実施しているところ。具体的には7月に明石障害者地域生活ケアネットワーク、明石市介護サービス事業者連絡会、明石市保健福祉施設協会へのヒアリングを実施、人材の確保 定着、育成に関することや、今後の施設整備など様々なご意見を伺った。

また ヒアリングの中で、現場で働く職員への聞き取り方法についても、ご意見をいただき、現在、高齢者施設、障害者施設の職員に対し、市の人材育成等の施設に関するご意見を伺うWeb アンケートを実施している。

<質問要旨>

(4)高齢者の方の福祉現場での活躍(元気高齢者の生きがいの場づくり)について

定年退職後や職業から引退後も、引き続き何らかの仕事を続けることで、社会とのつながりを希望し、自分に合ったライフスタイルを過ごしたいと考える高齢者が増えているが、福祉現場によっては高齢者の持つ知識と経験を生かせる場があると思われる。福祉現場の人材確保としても手だてはないか。



生活介護事業所を訪問

<明石市からの答弁要旨>

労働力不足が顕著な福祉現場においては、より深刻な影響が生じることが懸念されている。その一方で、健康で就労意欲にあふれ、豊かな経験と知識を持った高齢者の方も数多くおられる。こうした高齢者の方々に福祉現場で働いていただくことは、福祉現場の労働力不足の解消につながるだけでなく、高齢者にとって新たな活躍の場を得て生きがいを見つける後押しをすることにもなり、介護予防にもつながっていくものと考えている。

本市においては、健康で意欲溢れる高齢者の福祉現場での就労、就業を応援するために 介護福祉などの資格を持つ65歳以上の方が、福祉サービス事業所に就職した場合や、福祉サービス事業所に就職している65歳以上の方が新たに介護職資格を取得した場合に、2万円を給付する明石市高齢者の介護職就職奨励給付金制度を実施している。今後も様々な機会を通して同制度の周知を図り多くの 高齢者に利用していただけるよう取り組み、効果的な事例等についても調査研究していきたい。



生活介護事業所を訪問



養護施設を訪問

3 自転車のヘルメット着用普及拡大について

<質問要旨>

(1)自転車のヘルメット購入費用一部助成について

自転車のヘルメットの着用について、改正道路交通法の施行により、令和5年4月1日から全ての自転車利用者に対してヘルメット着用が努力義務になった。自転車事故による死者の約6割は頭部を損傷していると言われている。高校生等のヘルメット着用率が低く、事故に遭遇した際のリスクが高いなど、地域からの声も出ている。自転車乗車中の交通事故による被害を軽減するため、乗車時のヘルメット着用を促進することを目的として、自転車のヘルメットの購入費の一部を助成できないか。

<明石市からの答弁要旨>

着用率向上に関する市の取り組みについて、4月の努力義務化に合わせ、自治会便、ホームページ、広報 明石での啓発、記事の掲載、市庁舎及び公共駐輪場での啓発用 ポスターの掲示を行っている。また、四季の交通安全運動期間では5月と7月にパピオス明石、市民広場、イオン明石、交通安全イベントを実施し、啓発グッズを設置。法改正前から市内の学校園自治会、老年クラブ、企業等対象にした交通安全教室で自転車利用時のヘルメット着用の重要性を説明するとともに、高校生の自転車マナーの向上については、毎年、市内の高校2校で交通安全を再現するスクエアードストレート交通安全教室を実施し、啓発に努めている。

その他

市民からの請願について

「市民の会の賛否」と「採決結果」

今回は、市民が行政に声を届ける手段である「請願」4件の賛否も問われました。

内容	採決結果	市民の会
教職員定数改善と義務教育費国庫負担制度を堅持するための、2024年度政府予算に係る意見書採択の請願	採 択	○
小学校給食の無償を求める請願	不採択 (反対多数)	○
健康保険証の存続を求める意見書提出の請願	不採択 (反対多数)	○
明石市公設地方卸売市場の再整備に関する請願	採 択	○

各議員が専門のテーマごとに集中的に議論する常任委員会。金尾は福祉、教育、医療などを話し合う文教厚生常任委員会に所属しています。

文教厚生常任委員会

市補正予算案の「障害福祉・介護サービス等事業者への支援」に賛成。請願では、「教職員定数改善と義務教育費国庫負担制度を堅持するための2024年度政府予算にかかる意見書採択の請願」と「小学校給食の無償化を求める請願」などに賛成しました。